

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(30歳代男性1例及び20歳代女性1例)あります。本年の累積報告数は16例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センター「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 腸チフスの報告が1例(30歳代女性)あり、本年の累積報告数は3例です。症状は高熱、下痢です。推定感染地域は国外(インド)で、推定感染経路は経口感染です。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(40歳代男性)あり、症状は発熱、咳嗽、肺炎です。本年の累積報告数は8例です。
- レプトスピラ症の報告が1例(20歳代男性)あります。症状は発熱、筋肉痛、結膜充血で、感染経路は水系感染です。2003年(平成15年)11月に本疾患が感染症発生動向調査における全数把握の4類感染症になって以来、本市で初めての報告です。本疾患の詳細や届出等については以下のホームページを御覧ください。
○厚生労働省「感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-40.html>
- アメーバ赤痢(腸管外アメーバ症)の報告が1例(90歳代男性)あります。症状は発熱、肝膿瘍で、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は9例となっています。
- ウイルス性肝炎(B型)の報告が1例(20歳代男性)あり、症状は全身倦怠感、嘔吐、褐色尿、肝機能異常、黄疸です。推定感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は2例です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(50歳代男性)あります。本年の累積報告数は5例となっています。推定感染地域は国内で、推定感染経路は創傷感染です。
- 梅毒の報告が1例(20歳代女性)あり、本年の累積報告数は23例となっています。

◆ 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の定点あたり報告数は本市0.93(39例)、全国1.09(3,347例)で、共に過去5年平均値を大幅に上回る状況が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 2例(肺結核 なし, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 217例(肺結核 119例, その他結核 45例, 潜在性結核感染者 53例)うち喀痰塗抹陽性 55例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例(第32週追加報告1例含む)【1月以降の累積報告数 16例】
- 三類: 腸チフス 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- 四類: レプトスピラ症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類: アメーバ赤痢(腸管外アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- 五類: ウイルス性肝炎(B型) 1例(第32週追加)【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- 五類: 梅毒(早期顕症1例)【1月以降の累積報告数 23例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.90	122
	② 手足口病	1.10	46
	③ 流行性耳下腺炎	0.93	39
	④ 突発性発しん	0.52	22
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	20
	⑤ ヘルパンギーナ	0.48	20
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

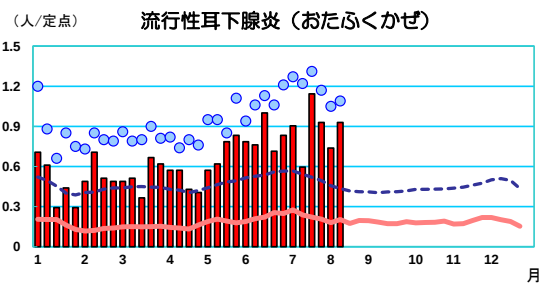
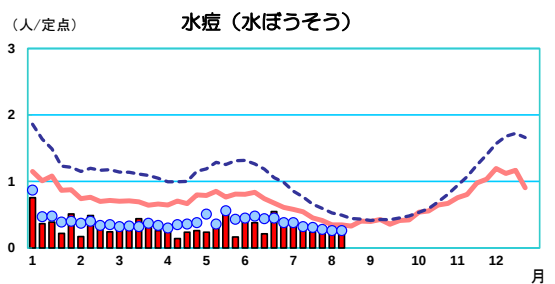
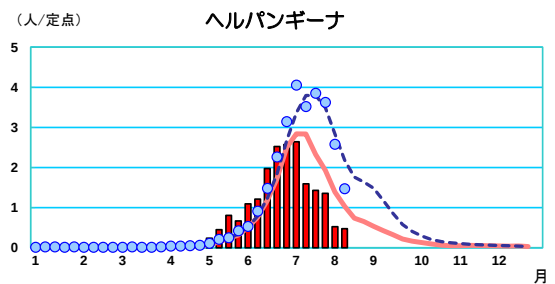
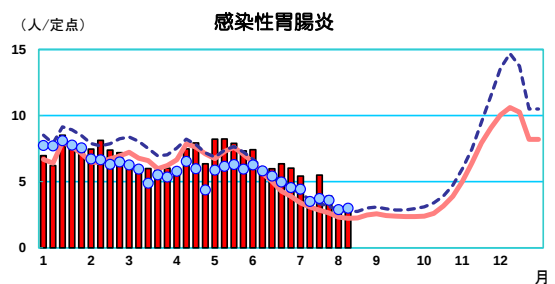
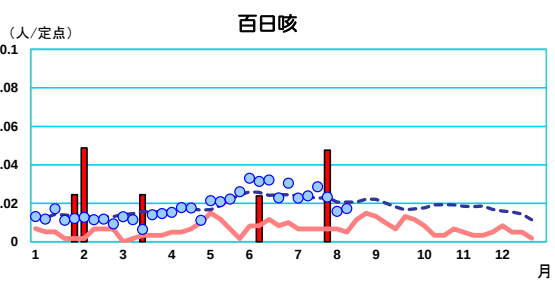
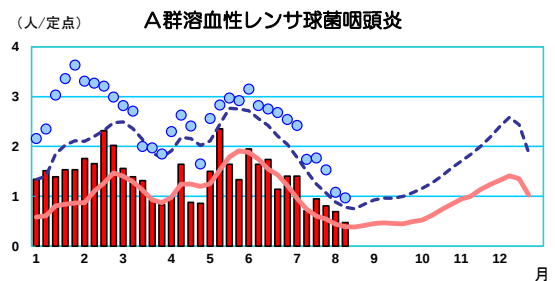
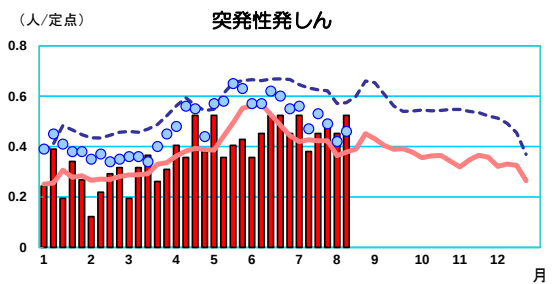
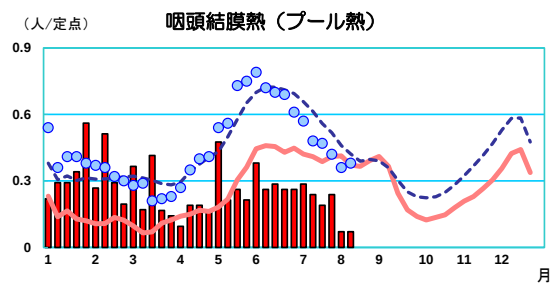
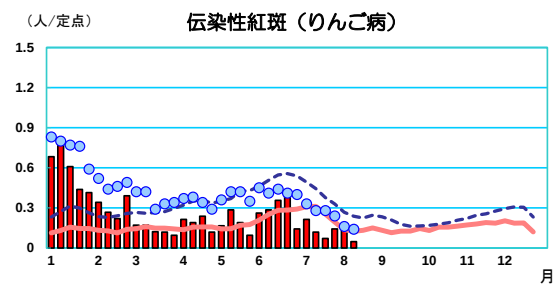
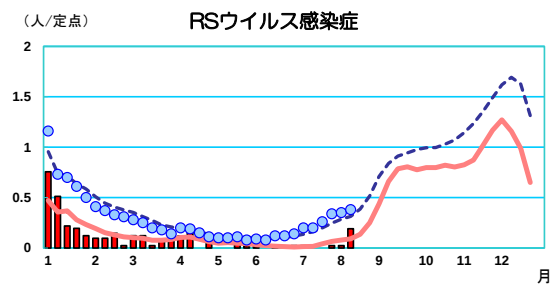
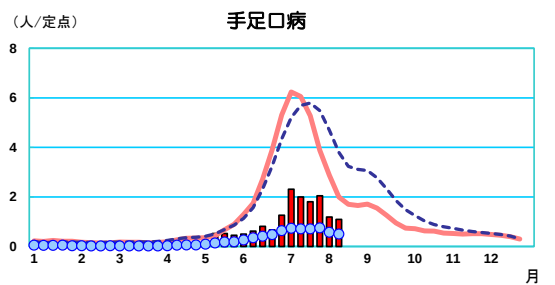
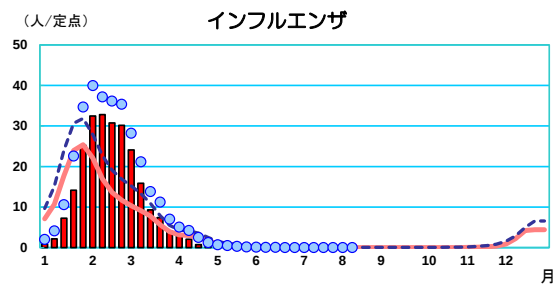
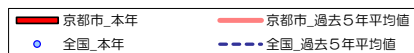
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年8月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ*及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第33週(8月15日～8月21日)トピックス: <流行性耳下腺炎>

京都市及び全国の発生動向

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の定点あたり報告数は本市0.93(39例)、全国1.09(3,347例)で、共に過去5年平均値を大幅に上回る状況が続いています(図1)。

過去の報告数をみると、平成22年以来の多い報告数で、流行しています(図2)。

流行性耳下腺炎の好発年齢は、3～7歳で約6割を占めています。保育施設等、小児の集団生活施設での集団発生に十分注意してください(図3)。

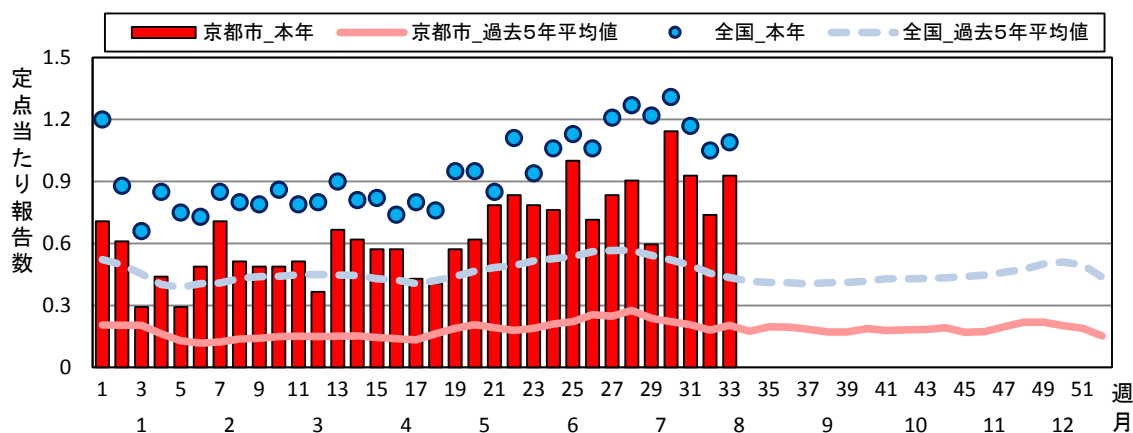
症状

本疾患は、ムンプスウイルスを原因とする感染症で、感染後2～3週間の潜伏期を経て発症します。主症状は、耳下腺の腫脹・疼痛及び発熱で、基本的には軽症で、症状の出ない人も約30%いますが、1,000～2,000人に1人の割合で無菌性髄膜炎、難聴(ムンプス難聴)、睾丸炎、卵巣炎などの合併症を引き起こすことがあります。

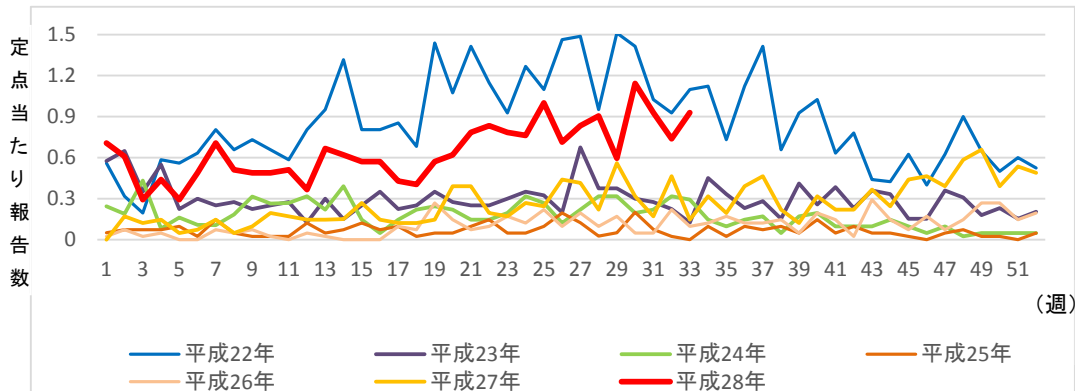
感染経路と予防方法

主な感染経路は咳、くしゃみ等による飛沫感染と手指を介した接触感染です。ムンプスウイルスの感染力はかなり強く、予防にはワクチン接種が効果的ですが、任意接種であるため自己負担となります。

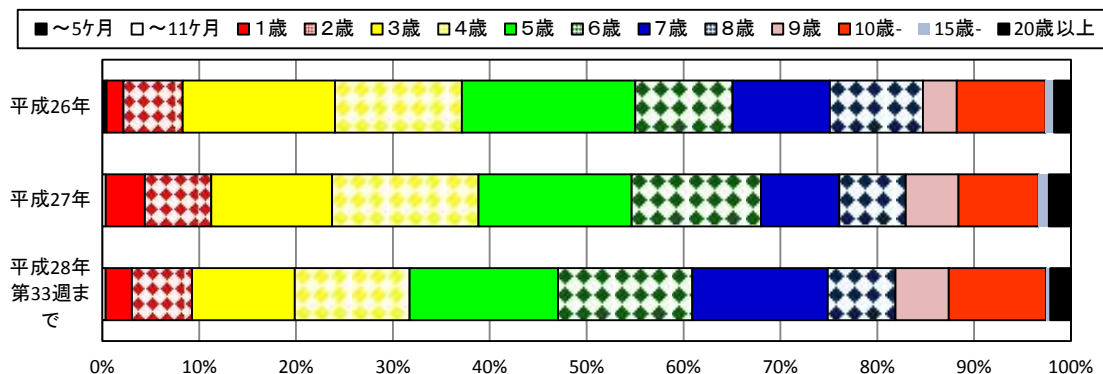
(図1)平成28年京都市および全国の定点あたり報告数の推移



(図2)京都市の定点あたり報告数の年別推移(平成22年～)



(図3)京都市の過去3年間の年齢階級別割合(平成28年33週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第33週

疾病,行政区別報告数

平成28年8月15日～平成28年8月21日

データ入手日:平成28年8月24日

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																			
北	-	1	-	1	2	-	2	-	-	-	2	1	-	1					
上京	-	-	-	1	5	1	4	-	1	-	-	1	-	-					
左京	-	3	-	4	14	1	8	-	1	-	1	2	-	-					
中京	-	-	1	2	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
東山	-	1	-	2	13	-	3	-	-	-	1	-							
山科	-	3	-	1	1	-	-	-	2	-	1	4	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-							
南	-	-	-	-	7	-	1	1	3	-	1	7							
右京	-	-	-	4	13	5	6	1	3	-	3	10	-	2					
伏見	-	-	-	2	35	2	19	-	9	-	8	8	-	-					
西京	-	-	-	2	3	23	-	-	3	-	2	6	-	-					
京都市計	-	8	3	20	122	9	46	2	22	-	20	39	-	3	-	2	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																			
北	-	0.25	-	0.25	0.50	-	0.50	-	-	-	0.50	0.25	-	1.00					
上京	-	-	-	0.33	1.67	0.33	1.33	-	0.33	-	-	0.33	-	-					
左京	-	0.75	-	1.00	3.50	0.25	2.00	-	0.25	-	0.25	0.50	-	-					
中京	-	-	0.33	0.67	3.00	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-
東山	-	0.50	-	1.00	6.50	-	1.50	-	-	-	0.50	-							
山科	-	0.75	-	0.25	0.25	-	-	-	0.50	-	0.25	1.00	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-							
南	-	-	-	-	2.33	-	0.33	0.33	1.00	-	0.33	2.33							
右京	-	-	-	0.80	2.60	1.00	1.20	0.20	0.60	-	0.60	2.00	-	2.00					
伏見	-	-	-	0.29	5.00	0.29	2.71	-	1.29	-	1.14	1.14	-	-					
西京	-	-	0.40	0.60	4.60	-	-	-	0.60	-	0.40	1.20	-	-					
京都市計	-	0.19	0.07	0.48	2.90	0.21	1.10	0.05	0.52	-	0.48	0.93	-	0.30	-	2.00	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:平成28年第33週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年8月15日～平成28年8月21日

データ入手日:平成28年8月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	8	1	2	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽 頭 結 膜 熱		3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		20	-	-	-	2	-	4	3	1	2	1	3	2	-	2						
感染性胃腸炎		122	-	11	26	6	10	9	4	7	14	1	4	9	4	17						
水 痘		9	-	-	1	-	-	4	-	1	2	1	-	-	-	-						
手 足 口 病		46	-	3	18	9	6	3	2	-	4	1	-	6	-	-						
伝 染 性 紅 斑		2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		22	-	10	9	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		20	-	3	9	1	2	1	1	-	-	-	-	2	-	1						
流行性耳下腺炎	年齢2	39	-	-	-	4	8	4	10	3	3	1	1	4	-	1						
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.19	0.02	0.05	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		0.07	-	-	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.48	-	-	-	0.05	-	0.10	0.07	0.02	0.05	0.02	0.07	0.05	-	0.05						
感染性胃腸炎		2.90	-	0.26	0.62	0.14	0.24	0.21	0.10	0.17	0.33	0.02	0.10	0.21	0.10	0.40						
水 痘		0.21	-	-	0.02	-	-	0.10	-	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-						
手 足 口 病		1.10	-	0.07	0.43	0.21	0.14	0.07	0.05	-	0.10	0.02	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		0.05	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.52	-	0.24	0.21	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.48	-	0.07	0.21	0.02	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	0.05	-	0.02						
流行性耳下腺炎	年齢2	0.93	-	-	-	0.10	0.19	0.10	0.24	0.07	0.07	0.02	0.02	0.10	-	0.02						
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	0.10	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		2.00	-	-	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第33週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年8月24日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	1	-
RSウイルス感染症	1	-	-	1	1	8
咽頭結膜熱	12	10	8	10	3	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	30	40	34	29	20
感染性胃腸炎	228	143	231	164	125	122
水痘	17	14	10	10	14	9
手足口病	97	84	76	86	50	46
伝染性紅斑	9	5	3	6	7	2
突発性発しん	22	16	19	20	19	22
百日咳	-	-	-	2	-	-
ヘルパンギーナ	111	67	60	57	22	20
流行性耳下腺炎	38	25	48	39	31	39
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	4	-	2	2	3
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	2
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	599	398	495	432	304	296

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症	0.02	-	-	0.02	0.02	0.19
咽頭結膜熱	0.29	0.24	0.19	0.24	0.07	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	0.71	0.95	0.81	0.69	0.48
感染性胃腸炎	5.43	3.40	5.50	3.90	2.98	2.90
水痘	0.40	0.33	0.24	0.24	0.33	0.21
手足口病	2.31	2.00	1.81	2.05	1.19	1.10
伝染性紅斑	0.21	0.12	0.07	0.14	0.17	0.05
突発性発しん	0.52	0.38	0.45	0.48	0.45	0.52
百日咳	-	-	-	0.05	-	-
ヘルパンギーナ	2.64	1.60	1.43	1.36	0.52	0.48
流行性耳下腺炎	0.90	0.60	1.14	0.93	0.74	0.93
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.40	-	0.20	0.20	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	2.00
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1.00	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	14.64	9.78	11.79	11.41	7.38	9.23

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。